

第3章 ポイント・データの作成 — Google Earth — ArcMAP

(1) 目標

- ① Google Earth によるポイント・データの作成方法を知る。
- ② KML を知る。
- ③ ポイント・データの KML 保存方法を知る。
- ④ ArcMAP による KML データの導入方法を知る。

(2) 準備

① シェープファイルの準備

千葉県シェープファイル¥ChibaTUIS.zip を D:¥Temp フォルダへコピーし、解凍する。

② 前回作成したプロジェクトファイルを確認する。Z ドライブの空間情報論のフォルダに Chiba.mxd があることを確認する。

ない場合は、空間情報論のフォルダを Z ドライブへコピーする。

Chiba.mxd の機能する条件

Z : ¥空間情報論に Chiba.mxd が存在すること。

D : ¥TEMP に ChibaTUIS のフォルダと構成するファイルが存在すること。

(3) 作業その 1 (Google Earth による作業)

① Google Earth Pro の立ち上げ

リモートセンシングフォルダの Google Earth Pro をダブルクリックし、立ち上げる。

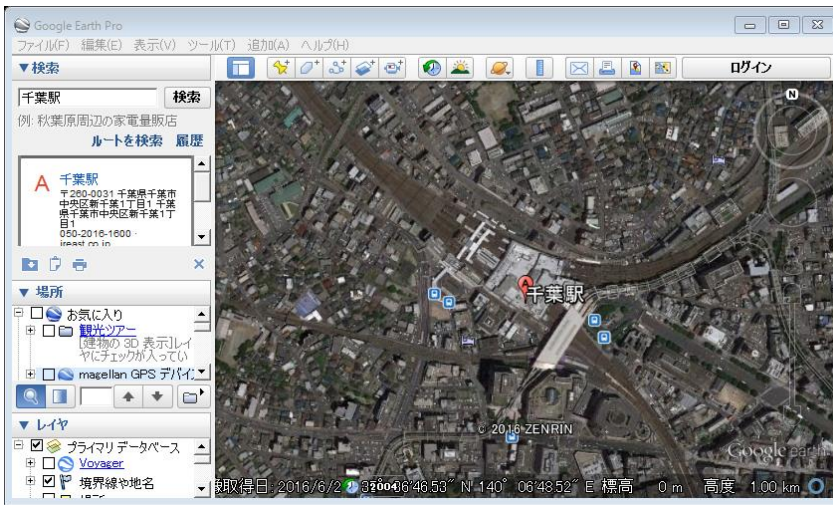
「Google Earth を探索する」は、「閉じる」をクリックする。



② ポイントの登録

(ア) 千葉駅

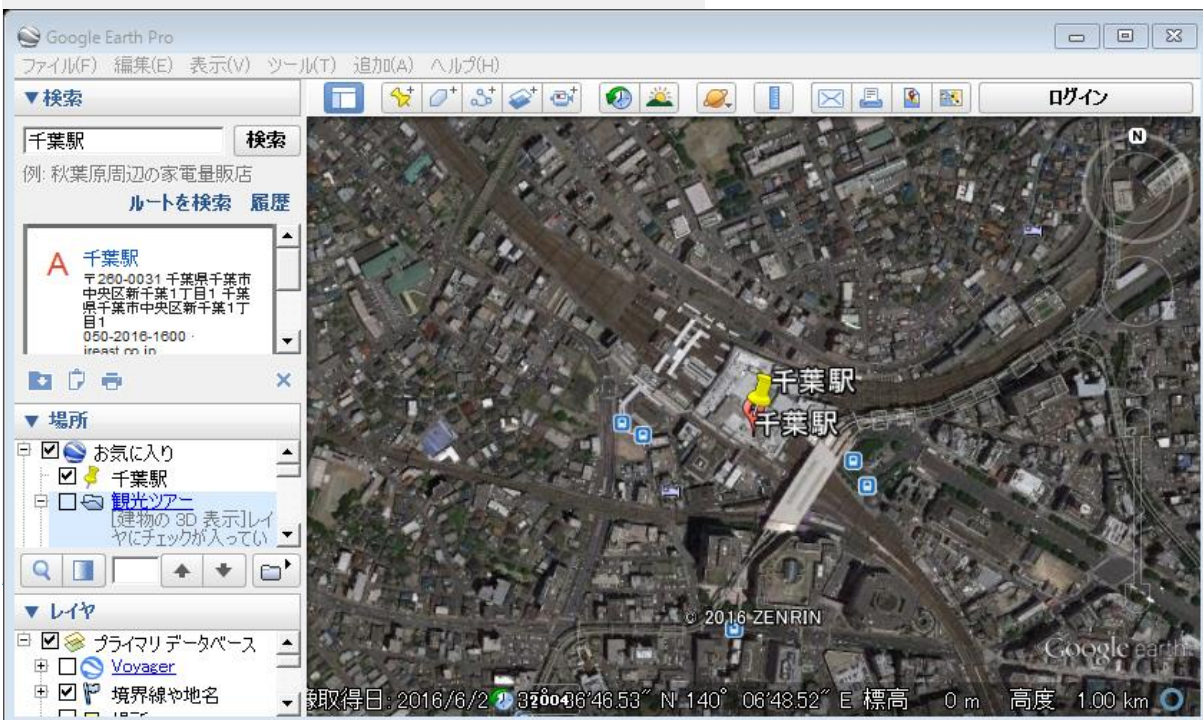
A) Google Earth の検索機能により、千葉駅を見つける。



B) 画鋲アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。

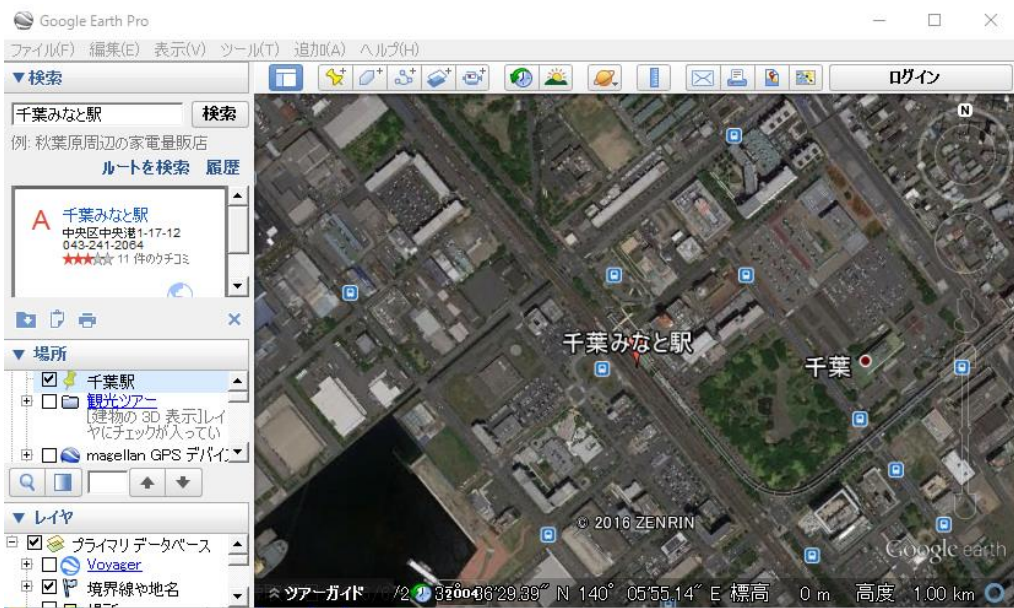


名前を「千葉駅」とする。
「OK」をクリックすると、「千葉駅」の場所
が作成される。



(イ) 千葉みなと駅 (JR、モノレール)

A) 検索機能により、千葉みなと駅を見つける。

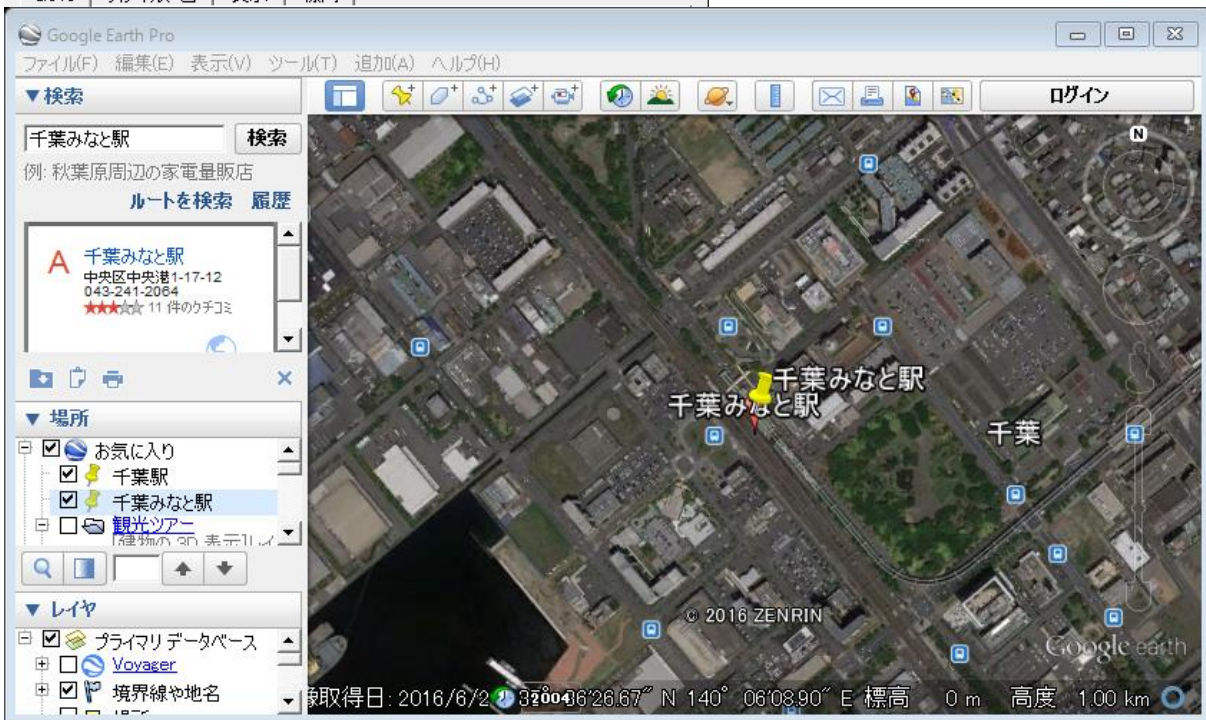


B) 画鋲アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。



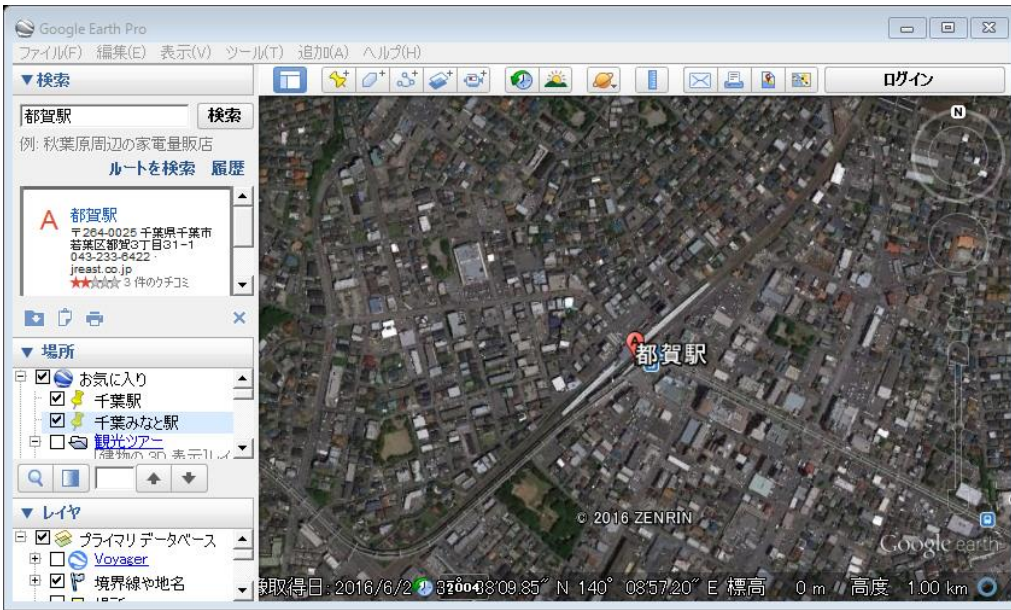
名前を「千葉みなと駅」とする。

「OK」をクリックすると、「千葉みなと駅」の場所が作成される。

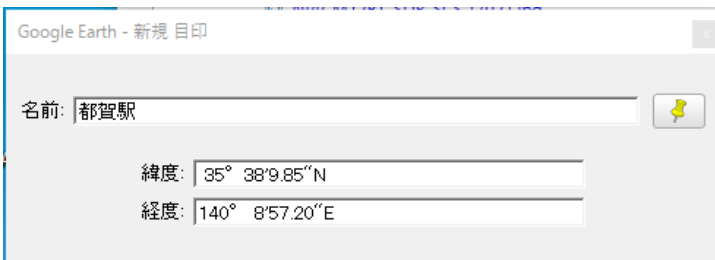


(ウ) 都賀駅 (JR、モノレール)

A) 検索機能により、都賀駅を見つける。

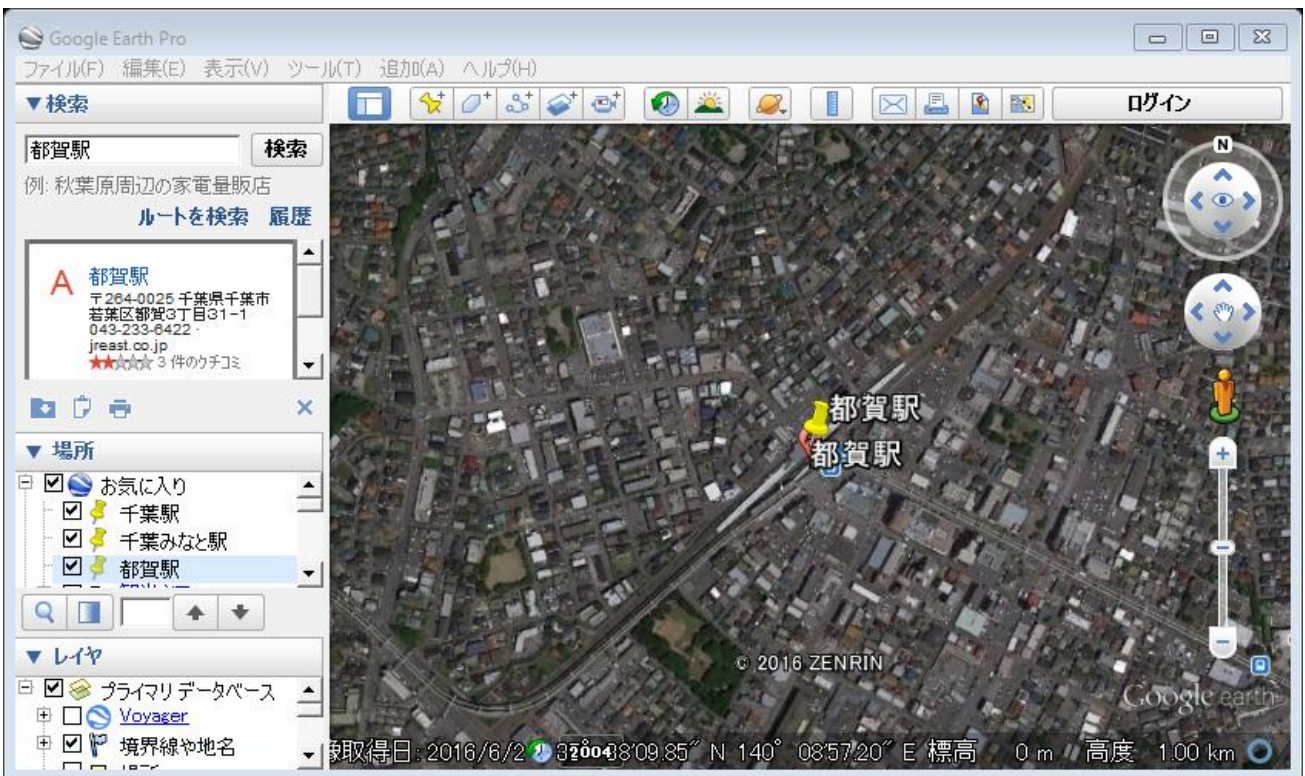


B) 画鋏アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。



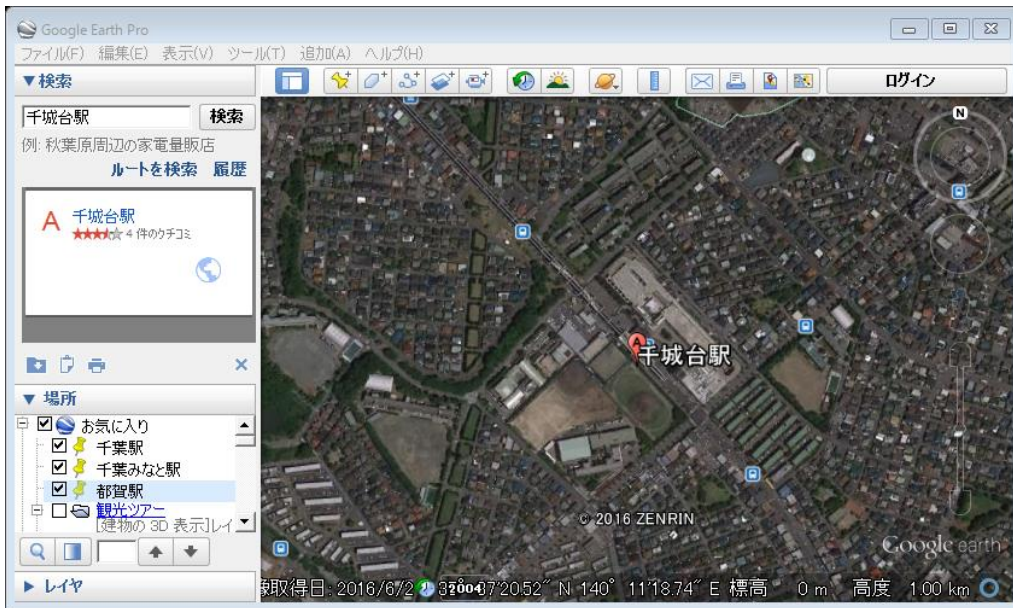
名前を「都賀駅」とする。

「OK」をクリックすると、「都賀駅」の場所が作成される。

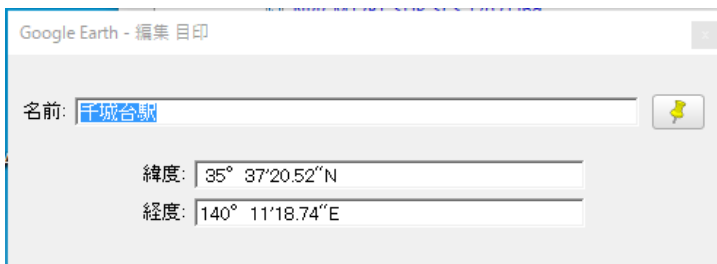


(エ) 千城台駅(モノレール)

A) 検索機能により、千城台駅を見つける。

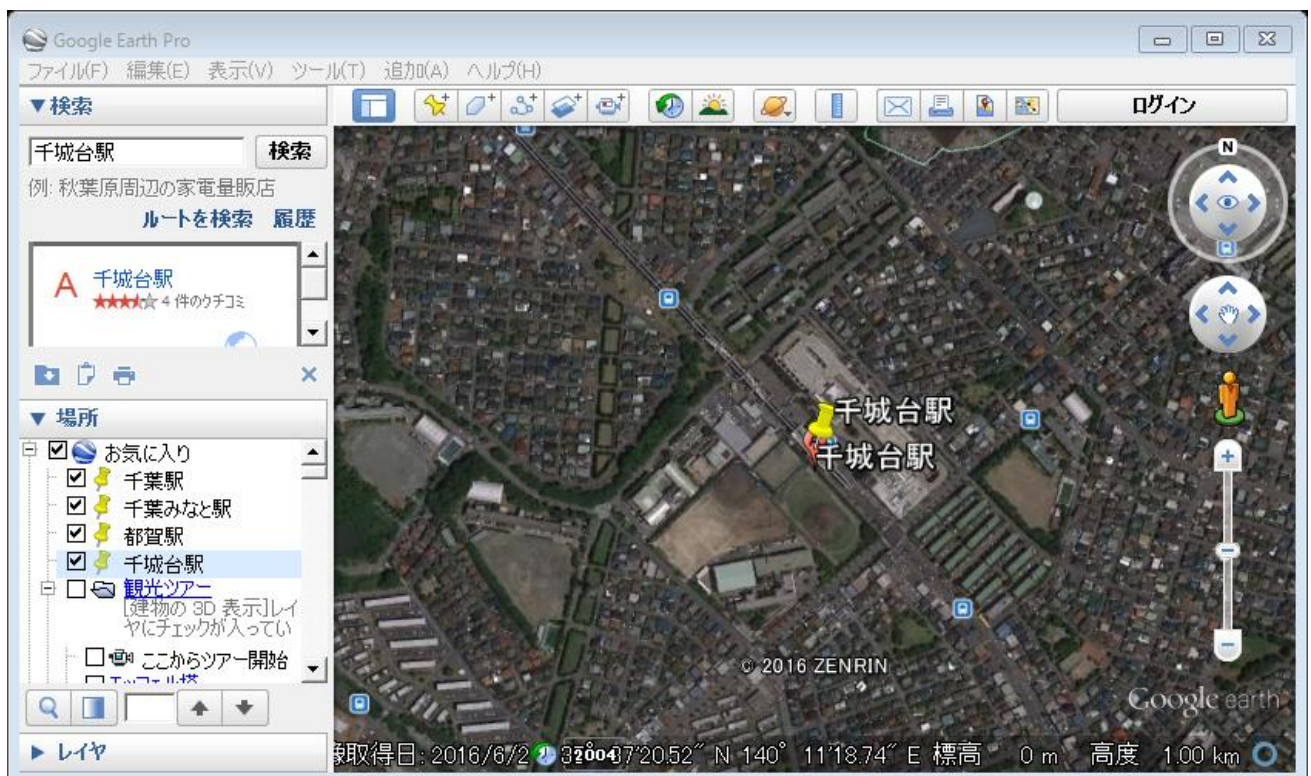


B) 画鋲アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。



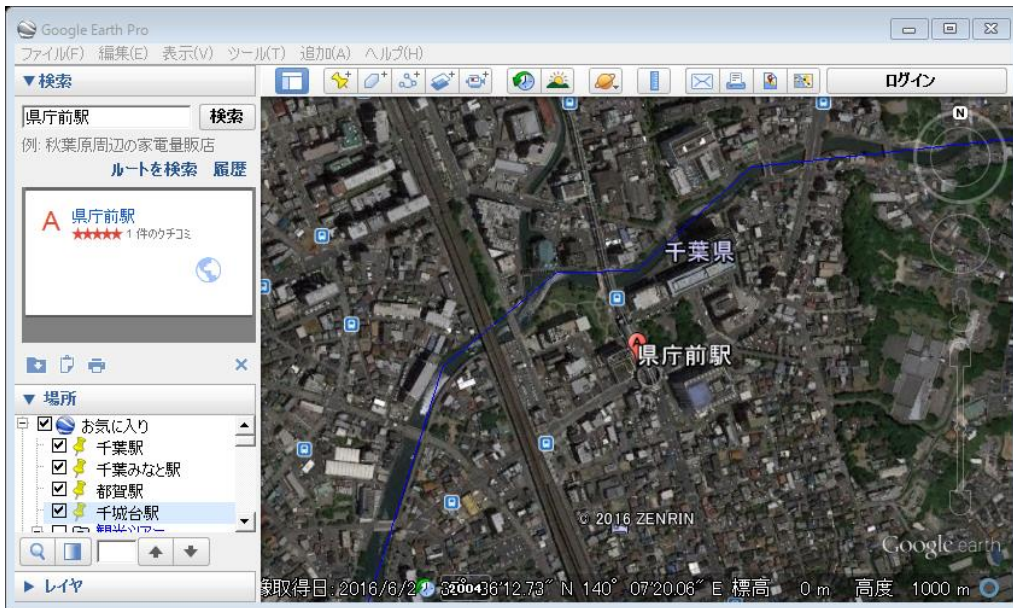
名前を「千城台駅」とする。

「OK」をクリックすると、「千城台駅」の場所が作成される。

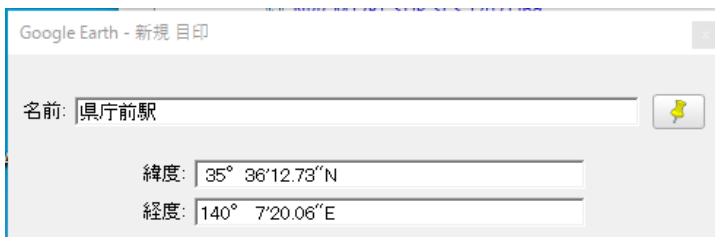


(オ) 県庁前駅(モノレール)

A) 検索機能により、県庁前駅を見つける。

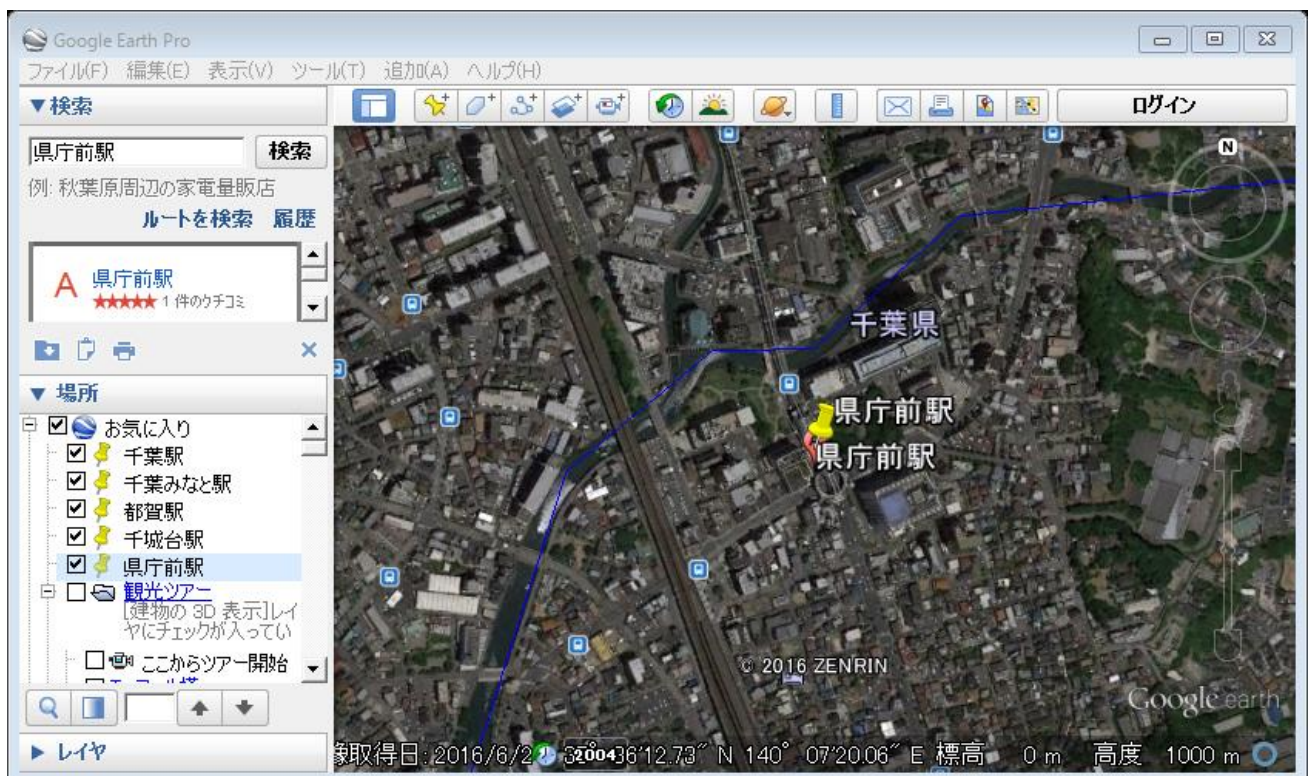


B) 画鋲アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。



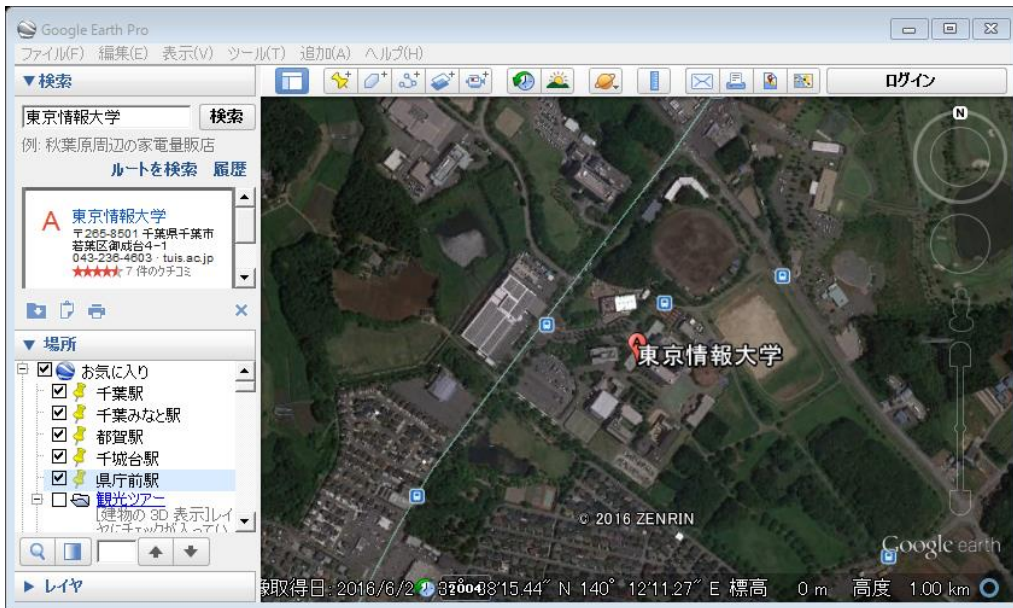
名前を「県庁前駅」とする。

「OK」をクリックすると、「県庁前駅」の場所が作成される。

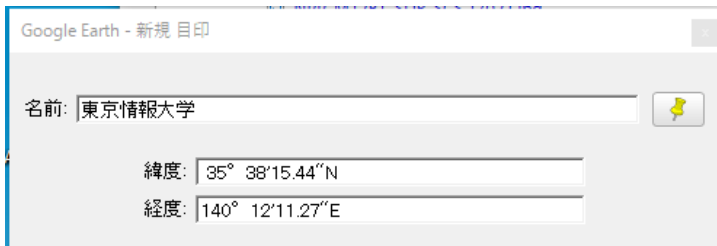


(カ) 東京情報大学

A) 検索機能により、東京情報大学を見つける。

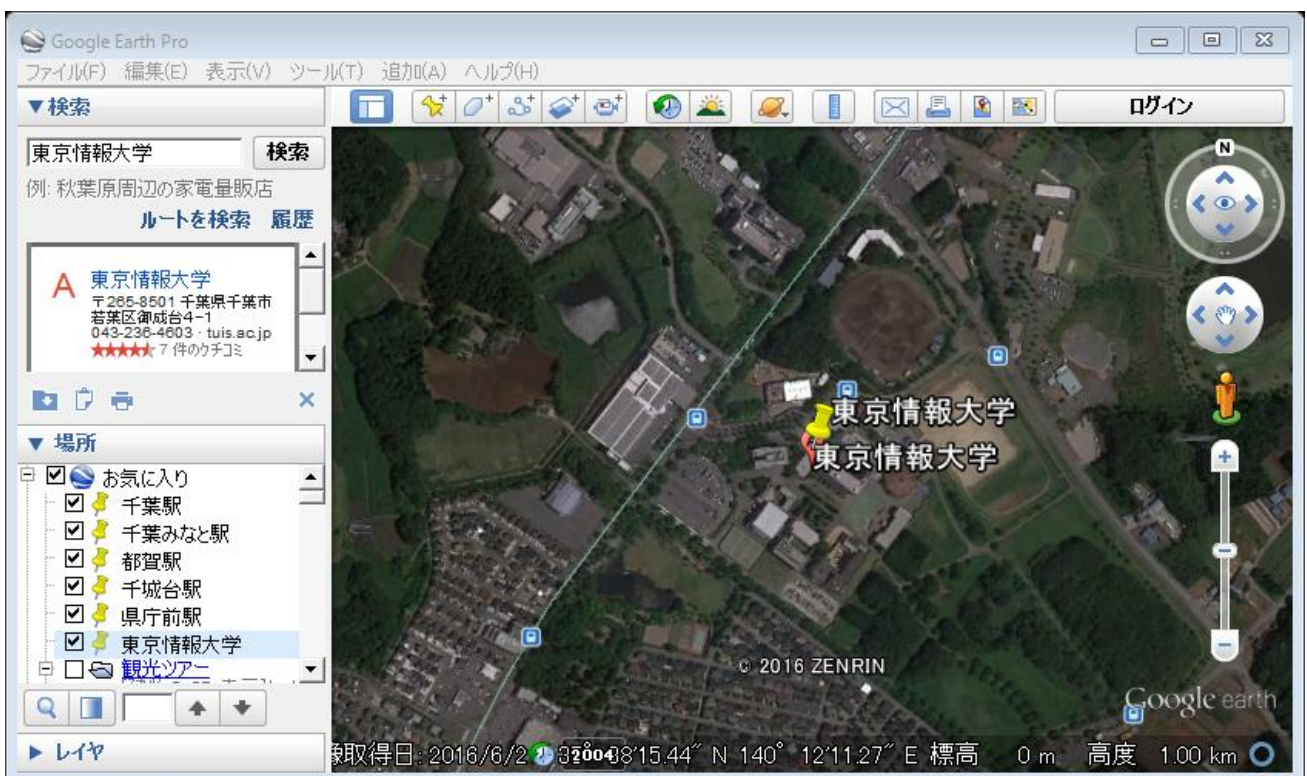


B) 画鋲アイコンの「目印を追加します」をクリックし、ポイントを登録する。



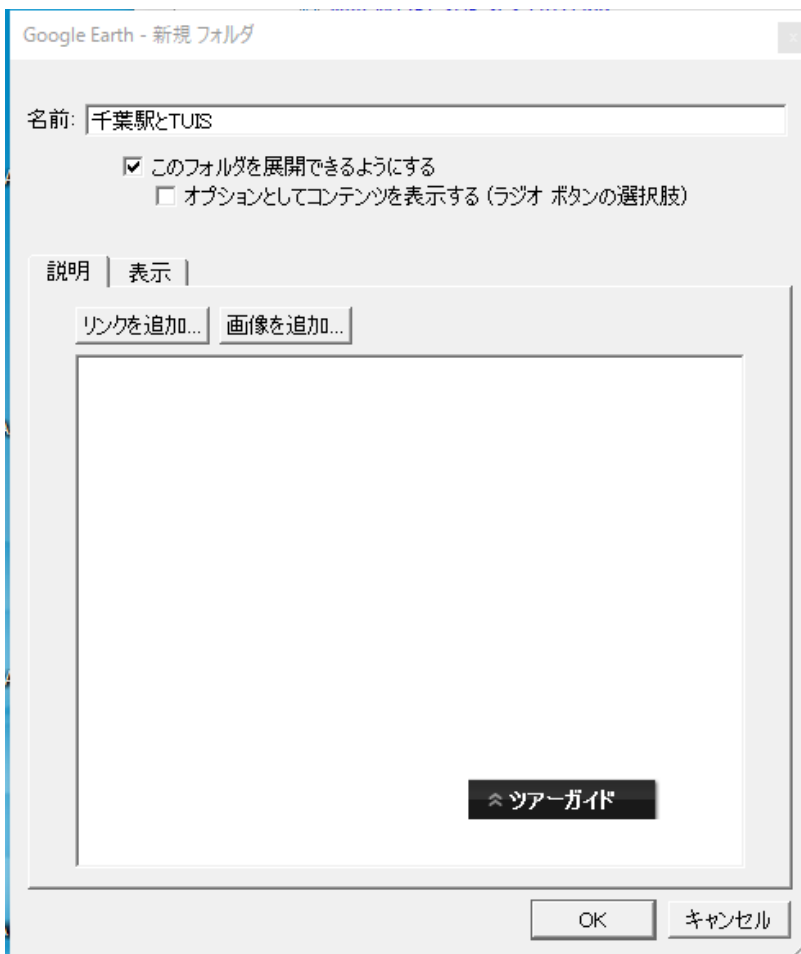
名前を「東京情報大学」とする。

「OK」をクリックすると、「東京情報大学」の場所が作成される。

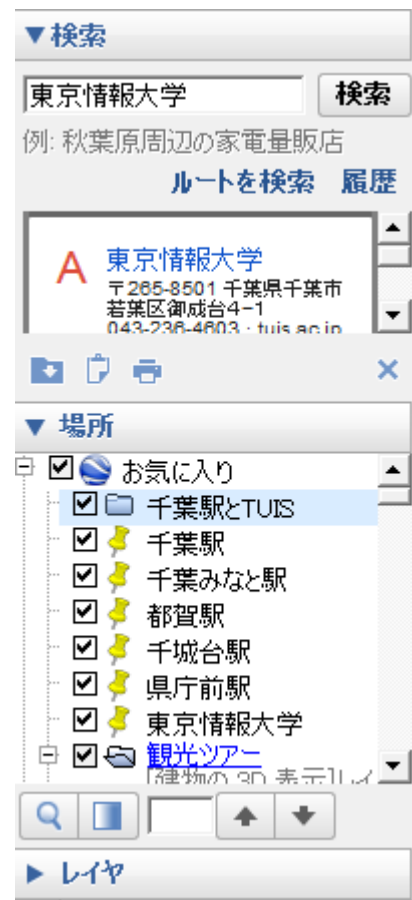


③ ポイント収納フォルダの作成

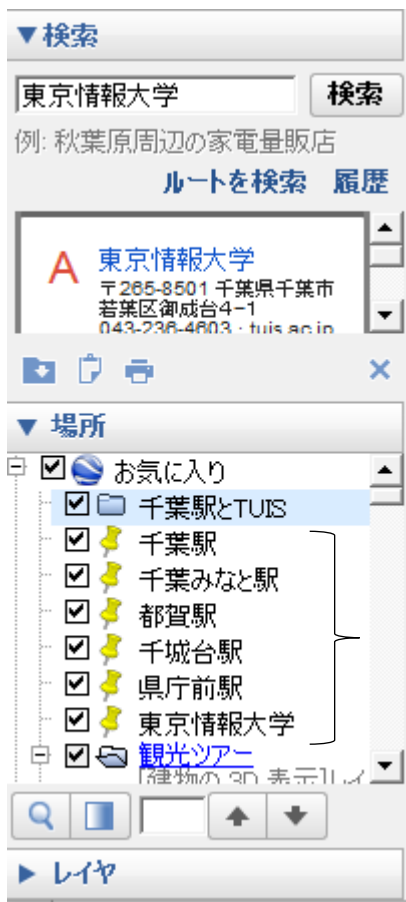
お気に入りの場所を右クリックし、「追加」から「フォルダ」を選択する。
ここに登録したポイントを追加する。



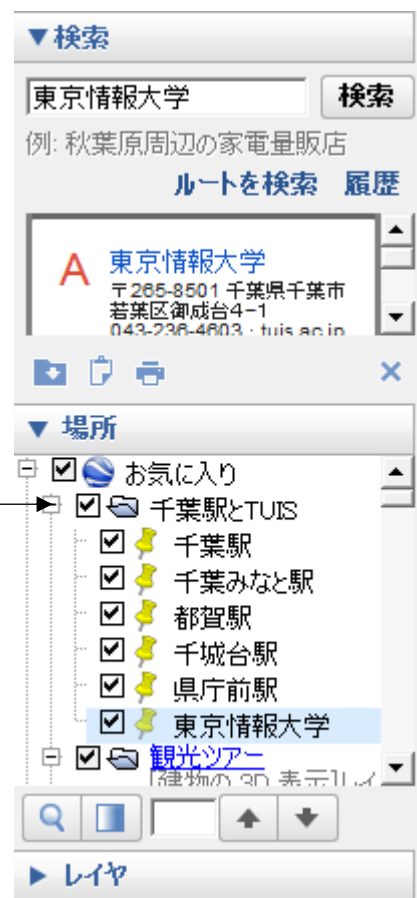
名前を千葉駅と TUIS としてフォルダを作成する。



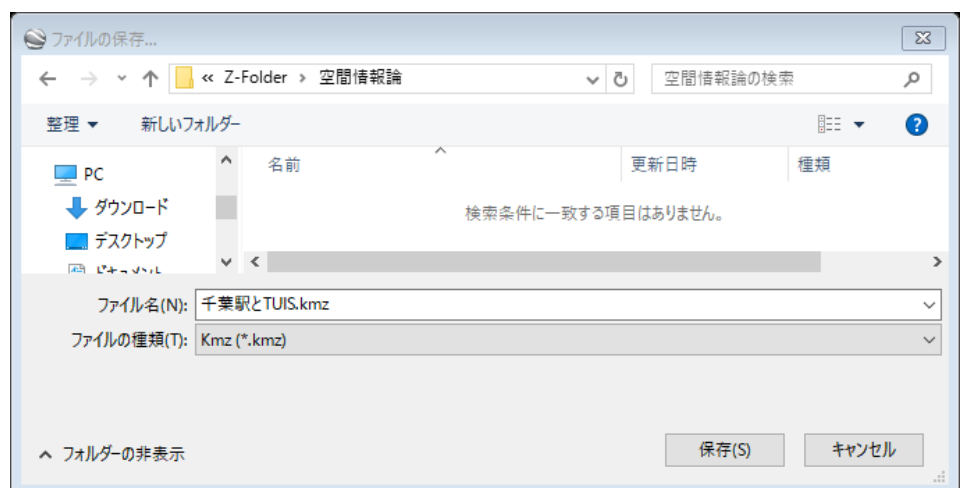
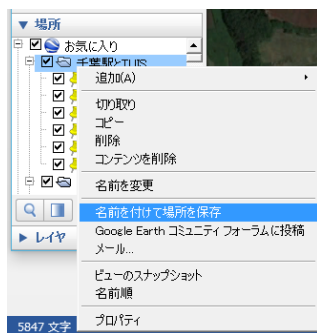
④ ポイント収納フォルダへの移動



千葉駅から東京情報大学までを、千葉駅と TUIS のフォルダへ移動する。



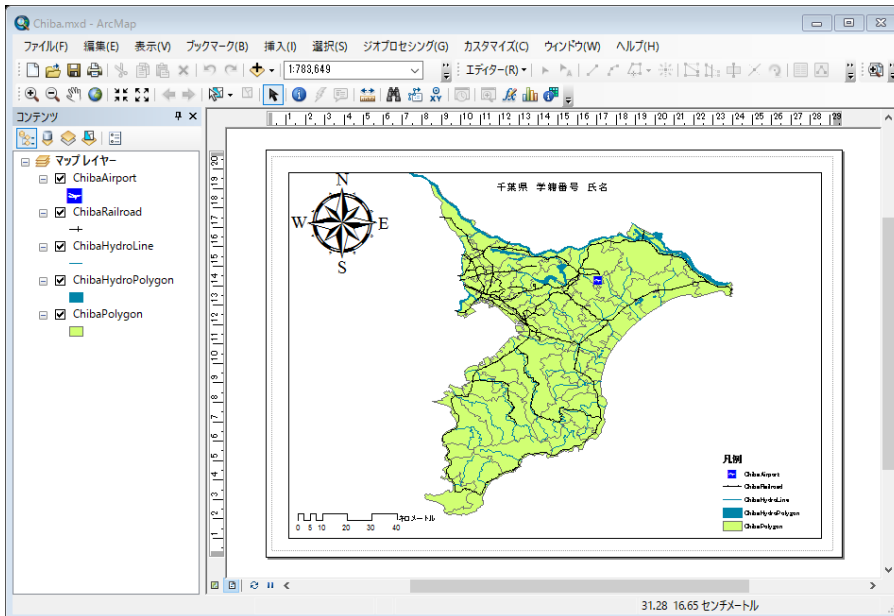
⑤ ポイント収納フォルダの KML 保存



Z:ドライブの空間情報論のフォルダに「千葉県と TUIS.kmz」として保存する。kml は通常のテキストファイルであり、kmz は kml の圧縮形である。

(4) 作業その2 (ArcMAPによる作業)

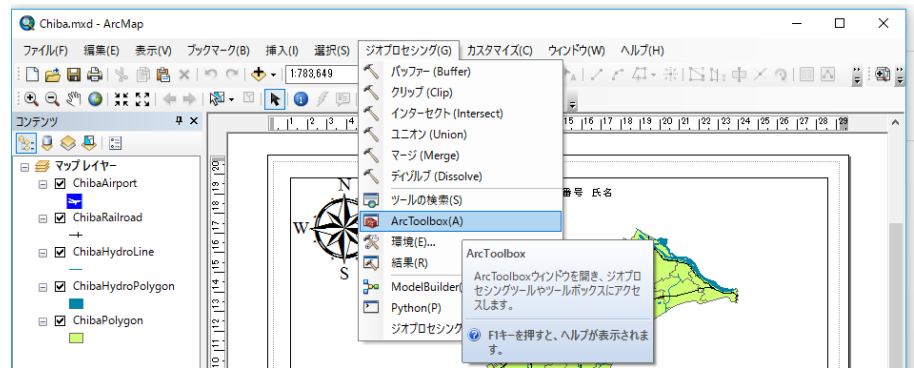
① 既存プロジェクトファイルを開く



Z: ドライブの¥空間情報論に格納されている Chiba.mxd をダブルクリックする。

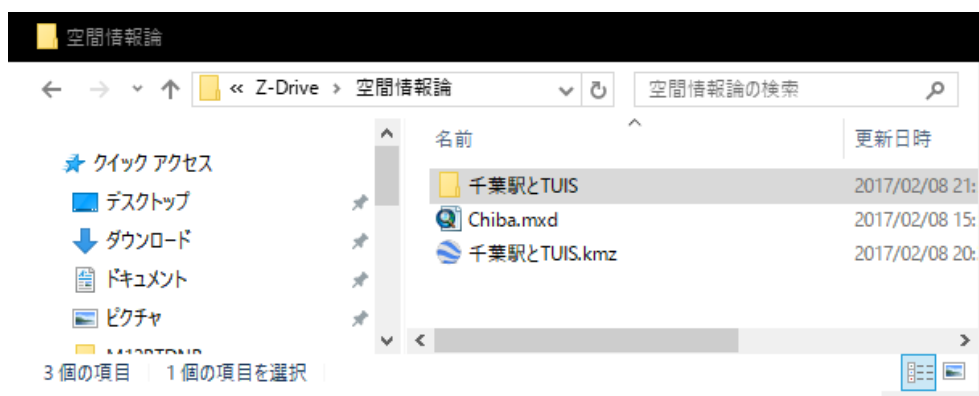
- ・ 画像の表示されない原因:
D:¥TEMP¥ChibaTUIS が存在しない。

② ArcToolbox (工具箱) の確認



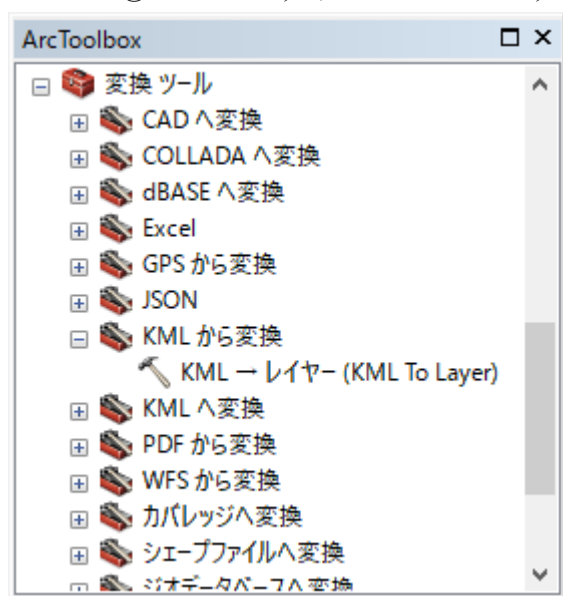
ArcTool ボックスが見えていないときは、ジオプロセッシングから ArcToolbox を開く。

③ KML 変換の準備作業



Z:ドライブ(各自の作業領域)の空間情報論フォルダに、右クリックから「新規作成」から「フォルダ」を選択し、「千葉駅と TUIS」を作成する。ここにポイントのシェープファイルが作られる。

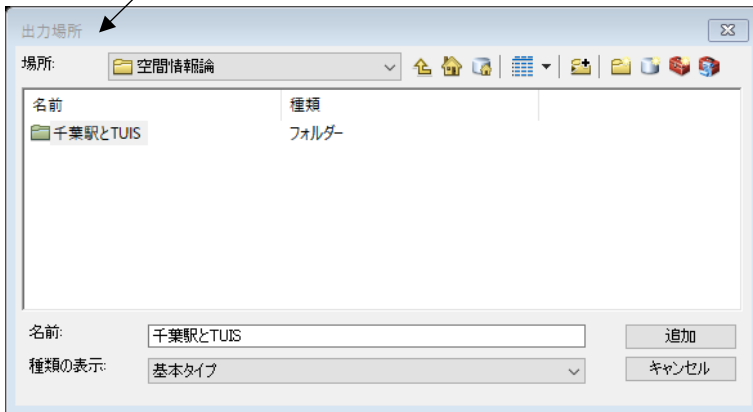
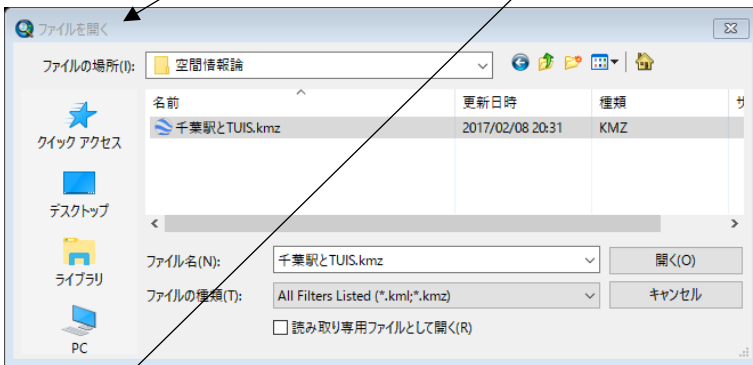
④ KML ファイルのシェープファイルへの変換



ArcToolbox の「変換ツール」の「KML から変換」の「KML→レイヤー(KML To Layer)」を起動する。

⑤ KML からレイヤーの作成

KML から変換をダブルクリックすると、次のウィンドウが開く。



変換の対象となる KML もしくは KMZ ファイルを指定する。

Z:ドライブ¥空間情報論フォルダの「**千葉駅と TUIS.kmz**」を指定する。

新しく作られるシェープファイルを保存する場所を指定する。③において作成したフォルダである。

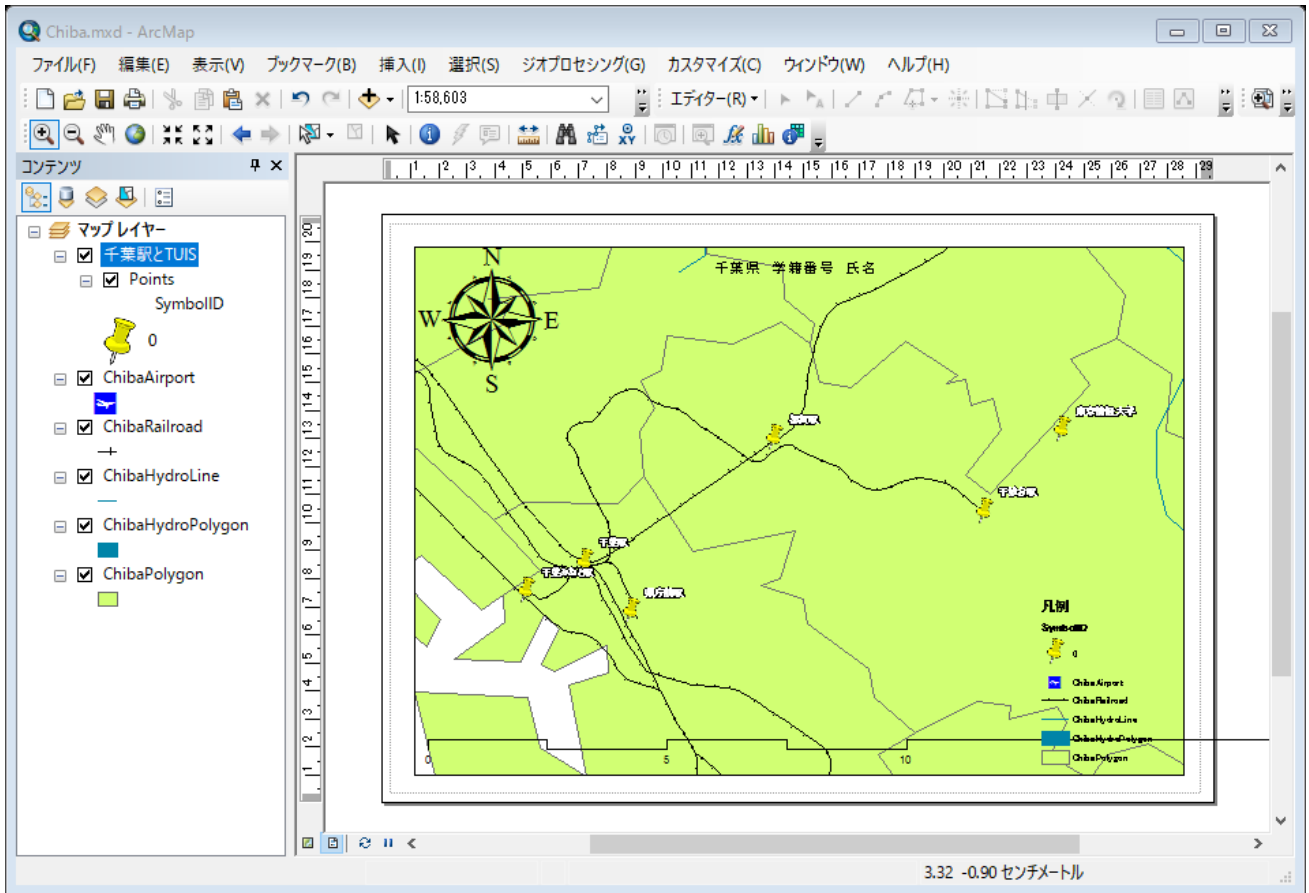
Z:ドライブ¥空間情報論フォルダの「**千葉駅と TUIS**」フォルダを選択し、「**追加**」をクリックする。



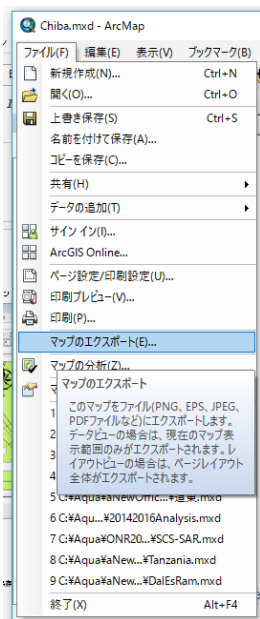
KML からシェープファイルの変換が成功すると、画面の右下に「**✓ KML - レイヤー**」が表示される。

⑥ ポイントデータの表示

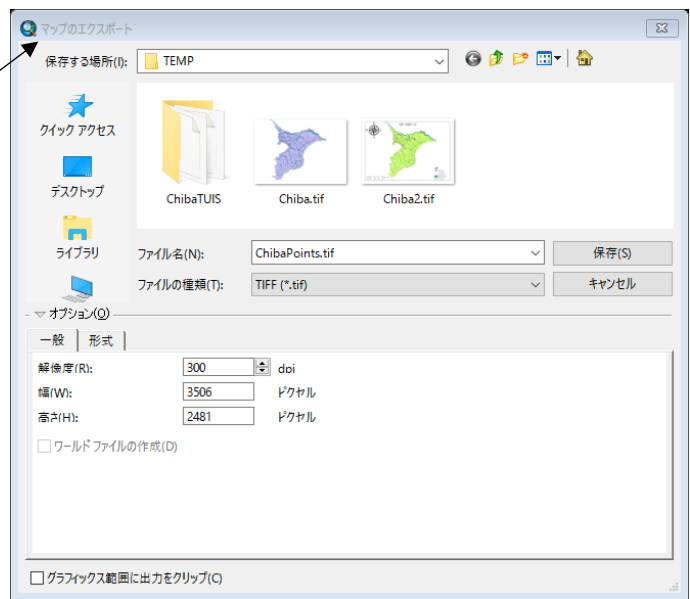
KML から作成されたポイントのシェープファイルが表示される。



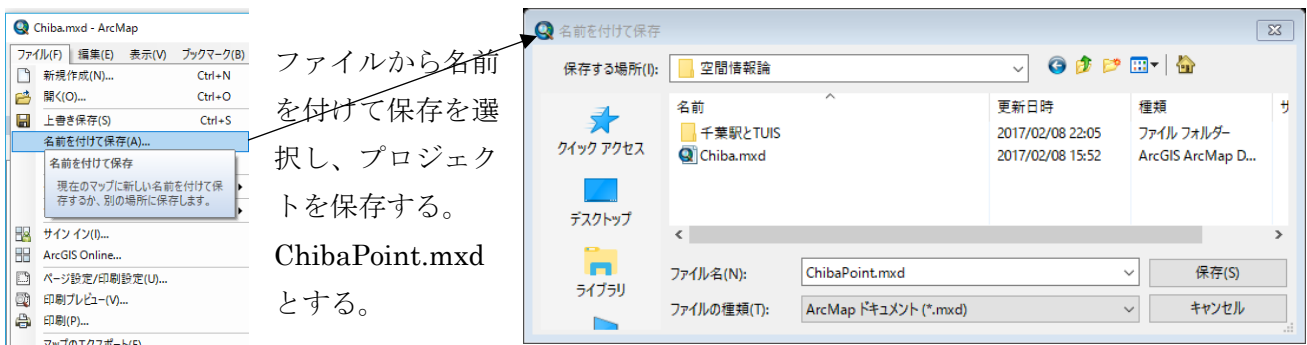
⑦ マップのエクスポート



D : ドライブの
¥TEMP フォルダへ
「ChibaPoint.tif」として
保存する。



⑧ プロジェクトファイルの保存



(5) 課題3 ポイント・データ

⑦においてエクスポートしたマップをプリントし、提出する。

